

シナリオ2：成美—わたしの努力は、主に求められたことを行うのに十分なのか（ヨハネ6：5－14）

新約聖書 セミナリー手引き

群衆が近づいて来るのをイエスと弟子たちが見たとき、弟子たちは皆に行き渡るほど十分な食物がないので不安になりました。

ヨハネ6：5－14で、イエスが5,000人に食物をお与えになったという話を研究し、次の原則が確認できる部分を探して、印をつけてください。「自分の持っているものをすべて救い主に差し出せば、救い主は御自分の目的を果たすために、わたしたちの努力を何倍にもしてくださる。」

- この原則が読み取れる節には、どのようなことが書いてありましたか。
- 弟子や、パンと魚を持っていた子供は、必要とされていた量と、自分たちが差し出そうとしていたものとを比較して、どのように感じたと思いますか。

中央若い女性会長会第一顧問のミッシェル・D・クレーグ姉妹の、次の言葉を読んでください。



「皆さんは自分の才能や賜物が十分ではないと感じたことはありませんか。わたしはあります。しかし、皆さんもわたしもキリストに、自分にあるだけのものを差し出せば、主はわたしたちの努力を何倍にもしてくださるでしょう。人間のもろさや弱さがあるとしても、神の恵みに頼るなら、ささげられるものは、有り余るほどあります。」（ミッシェル・D・クレーグ「聖なる不満足感」『リアホナ』2018年11月号、54）

- ほかにどのような方法で、「自分にあるだけのものをキリストに差し出す」ことができますか。
- イエスが5,000人に食物をお与えになったという話は、自分が差し出すものが十分ではないと心配する人の助けになります。あなたはこの話から何を学びましたか。

学んだことを発表する準備をする際には、自分やほかの人の生活の中で、救い主が御自分の業を成し遂げるために人の努力を何倍にもしてくださるのを見たときのことを、例として考えましょう。

末日聖徒

イエス・キリスト
教会